



化学物質による「爆発」と「環境リスク」

そのメカニズム・課題及びその対策

化学物質は、我々の日常生活に様々なベネフィットを提供してくれる現代社会発展の原動力です。今後も発展を続けるためには、化学物質のリスクを軽減し、化学物質とうまく付き合っていく方が求められています。

化学物質に起因する爆発と言えば、直近の2020年8月、レバノンの首都ベイルートで、硝酸アンモニウムによる爆発事故が発生し、約200人の死者・6,500人以上の負傷者を出し、多くのメディアにその凄まじい破壊の様子が取り上げられたことが記憶に蘇ります。

一方、1970年代後半、米国ニューヨーク州で起きたラブキャナル事件では、長らく不法投棄された化学物質の上で暮らしたことで、流産、がん、先天奇形等が多発しました。化学物質が低濃度でも長期暴露により引き起こすリスクの局面を「環境リスク」として捉えることができます。

本講演会では、化学物質のリスクの代表である「爆発」と「環境リスク」がご専門の講師をお招きし、それらの発生メカニズム・課題、リスクの軽減策を解説していただきます。

本講演会は、会場参加者を通常より少なく設定し、同時にWebでも配信します。申込時にはどちらかを選択してください。講演会場では新型コロナウイルス感染症予防策を講じます。皆様のご協力をお願いします。

- ・入場の際にマスク着用、手指消毒、検温へのご協力をお願いします。
- ・受付や着席の際は、ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。

日時 : 2020年12月12日（土） 13:30～16:45 （受付：13:00～）

会場 : 万国橋会議センター 403号室（横浜市中区海岸通4-23）

Web配信あり

参加費 : 日本技術士会会員 2,000円 準会員 1,000円

一般の方、未入会技術士 3,000円 協賛団体 無料（2名/1社まで）

主催 : 日本技術士会神奈川県支部

【プログラム】

開会挨拶 日本技術士会神奈川県支部支部長

清水 進

■ 講演 1

13:45～15:05

化学物質に起因する爆発のメカニズムとリスク対策

講師：横浜国立大学 先端科学高等研究院 教授

三宅 淳巳 氏

■ 講演 2

15:20～16:40

化学物質の環境リスクの評価と管理

講師：横浜国立大学 大学院環境情報研究院 自然環境と情報部門 教授

亀屋 隆志 氏

閉会挨拶 日本技術士会神奈川県支部研修委員会CPD 支援小委員会 委員長

嶋田弘僧

参加お申し込み方法・案内図は裏面をご参照ください。

会場案内



万国橋会議センター
 横浜市中区海岸通4-23
 TEL:045-212-1034

みなとみらい線「馬車道」駅6番出口から徒歩4分
 市営地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分

■ 申込方法

【技術士の方】 日本技術士会HPの行事予定から申込できます

【E-mailの場合】 下記申込書の内容を kanagawa@engineer.or.jp へ送信してください

【FAXの場合】 下記申込書に記入の上、切り取らずに 045-210-0338 へ送信してください

■ お問合せ先

日本技術士会神奈川県支部 (〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンターM209)

TEL : 045-210-0337 FAX : 045-210-0338 E-mail : kanagawa@engineer.or.jp

★ 提供いただいた個人情報は本講座の運営のために使用し、それ以外の目的には利用しません。

★ 無断欠席された場合は費用を後日請求させていただきます

参加申込書

【定員 会場：30名、Web：100名】

締め切り：2020年12月7日(月)

フリガナ		<input type="checkbox"/> 一般参加者 <input type="checkbox"/> 協賛団体 <input type="checkbox"/> 日本技術士会正会員 <input type="checkbox"/> 準会員 <input type="checkbox"/> 未入会技術士 技術部門
氏名		
所属・役職		
連絡先	住所 TEL E-mail (必須)	FAX 連絡事項など
参加区分	<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> Web参加 (必ずいずれか一つを選択して下さい)	